

令和3年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (11月26日実施)	総合評価（3月4日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の進路実現のための教育課程編成と授業のユニバーサルデザイン化を目指した組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②ICTを活用した授業を推進する。</p>	<p>①すべての生徒にわかりやすい授業を目指す。</p> <p>①新カリキュラムに合わせた成績評価の基準を検討する。</p> <p>②授業におけるICTの活用を推進する。</p>	<p>①テーマに基づく授業互見を実施し、組織的な授業改善を進める。</p> <p>①10段階から5段階評価への変更を検討する。</p> <p>②研修会等を実施し、ICTの活用例を広める。</p>	<p>①生徒による授業評価の数値が向上したか。</p> <p>①5段階評価に変更できたか。</p> <p>②ICT機器の活用が進んだか。</p>	<p>①授業互見が1学期は中止になり、2学期実施予定である。</p> <p>①新カリキュラムに関する研修会をオンラインで開催し職員への周知を図った。</p> <p>②ICT機器の活用した授業が増えている。</p>	<p>①授業互見の更なる工夫が必要である。</p> <p>①コロナ禍により、会議の回数が少なくなり、予定より遅れ気味である。</p> <p>②授業におけるICT活用方法等の授業勉強会等を実施する。</p>	<p>① 授業互見は重要、継続して実践してほしい。</p> <p>① 生徒による授業評価について、評価の観点として挙げられているので、総合評価ではその結果を踏まえた記述があるとよい。</p>	<p>① 11月に授業の互見と教科会を開き成果と課題を情報共有し、12月に報告会を開催した。授業評価の集計が遅れ、生徒の意識の把握が共有できなかった。</p> <p>② 5段階評価への変更を各教科の意見を伺いながら実施していく。</p> <p>②コロナ禍で臨時休校になったことを逆手に取ってMeetを活用した双方向授業を多くの教科で実施した。活用に消極的な職員も見受けられる。</p>	<p>①授業評価の結果を分析し、生徒のニーズを把握して、授業改善に生かしていく。</p> <p>①5段階評価に変えたことで生徒の意識の変化を授業評価等を通して把握し、確認していく。</p> <p>②生徒一人一台PCが来年度より実現するので、研修等を通して活用の仕方を情報共有し、ICTの活用をより推進していく。</p>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの支援を組織的に行っていく。</p> <p>②生徒を主体とした学校行事や生徒会活動を推進し、部活動を通して責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①当該生徒に関わる教職員の情報共有の場を設定していく。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を通して生徒の主体性を育てる。また、企画・運営を通して達成感を持てるよう支援する。</p>	<p>①継続してグループ会議や学年会議で生徒の情報共有を進める。</p> <p>②学校行事等で生徒の主体的運営を実践し、支援する。行事への参加により、生徒のリーダー性を育てる運営を支援する。</p>	<p>①生徒の困り感が担当の教職員で共有できているか。</p> <p>②生徒アンケートにより、生徒の行事参加への組織的な運営力と達成感を持たせられたか。</p>	<p>①グループ・学年において生徒の情報交換を行うことができていた。</p> <p>②新型コロナウイルス感染防止対策の中、西翔祭（体育の部）を実施した。生徒の取り組みは大変よく、達成感を持たせられた。</p> <p>西翔祭（文化の部）は規模縮小し、実施の予定である。（検討中）</p>	<p>①生徒の問題行動に対して支援的観点で対応すべきものもあり、保護者と綿密に連絡を取りながら丁寧な指導を共有する。</p> <p>②体育の部においてはコロナ禍で一部内容の変更することになり、準備に十分な時間が確保できなかった。</p> <p>例年のように全生徒が活動に参加できるような場所と内容を検討する。</p>	<p>① 生徒の「困り感」に着目されていることは重要。今後も教職員間での情報共有を進め、丁寧な指導に取り組んでほしい。</p> <p>① 今後も感染防止に留意し、生徒の主体性を育てる実践に取り組まれることを願う。</p> <p>② コロナ禍で行事を実施できたことは、生徒の学校生活への関心や意欲を高めることに結びついたと思う。学校側の判断を評価したい。</p>	<p>① 生徒の問題行動に対し、教員間での情報共有を図り、支援的観点から対応し指導した。課題として自転車による事故・違反が多く、苦情が寄せられることがある。</p> <p>②新型コロナウイルス感染防止対策の中、西翔祭（体育の部）を実施することができ、生徒は主体的に取り組む、達成感を得られた。西翔祭（文化の部）は規模縮小し、発表においては、生徒の感染症対策等のマナーが良く守られていた。</p> <p>3年生の有志企画や球技大会を例年通り実施することができた。</p>	<p>①生徒の問題行動には、こまめに教員間で情報提供して支援的観点から対応する。自転車による事故・違反については講習や掲示物・連絡等で情報伝達し、事故・違反の防止にする。</p> <p>②感染症対策を講じながら、生徒主体の西翔祭を実施できるように、準備等計画的に進めていきたい。西翔祭（文化の部）が2年間規模縮小の実施となったため、例年の活動を知る上級生がいなくなり、次年度は職員のサポートがより必要になると思われる。西翔祭（体育の部）の団（3色）分け等の工夫をしていきたい。</p>
3 進路指導・支援	<p>①生徒の自己実現に向けたキャリア教育を実践し、生徒一人ひとりの主体的な進路選択と進路実現を図る。</p>	<p>①1・2年次における総合的な探究の時間の新たな取組を実践する。また、今年度の実践を踏まえて、次年度以降の取組の改善を図る。</p> <p>①大学入試改革に応じた進路指導を実践し、生徒一人ひとりの進路実現を支援する。</p>	<p>①1・2年次における総合的な探究の時間の活動において、「探究の過程」を踏まえたものとして実践できたか。また、次年度以降に向けて総合的な探究の時間が適切に再構築できたか。</p> <p>①大学入試改革における情報収集を行い、入試改革に応じた適切な進路支援を行い、生徒一人ひとりの進路実現を図る。また、地域の企業を訪問し、職業</p>	<p>①1・2年次における総合的な探究の時間が「探究の過程」を踏まえたものとして実践できたか。また、次年度以降に向けて総合的な探究の時間が適切に再構築できたか。</p> <p>①大学入試改革における情報収集と個に応じた進路支援が適切に行えたか。</p> <p>①地域と連携した進路支援が適切に行えたか。</p> <p>①生徒の実態に</p>	<p>①テキスト「進路探究ワーク」を用いて活動している。個人ワークを通して課題を設定し、資料集などを活用して情報収集を行っている。</p> <p>①大学入試改革等の情報を収集し、学校再開後すぐ3学年生徒、保護者に対し、入試情報を伝えた。6月には3学年保護者対象進路説明会を教室において感染拡大防止のためリモートで実施した。</p> <p>1年生はコロナ禍で近隣の会社訪問</p>	<p>①一部の活動ではグループワークや話し合いなどの活動を取り入れた学びあいを実施できたが、多くの活動については個人ワークで行っている。今後は率先して話し合いなどの学びあいの機会を増やしていきたい。</p> <p>①入試情報を丁寧に生徒に伝えることができた。しかし進路の幅を広げるところまでは進まなかった。もう少し選択肢を広げられるように指導できればと考えて</p>	<p>① このような状況下で、一部であっても生徒同士の学びあいを実施できたことは素晴らしい。</p> <p>① コロナの影響で総合的な学習の時間数も厳しいと思うが、個人ワークの成果を可能な範囲で共有してもらいたい。</p> <p>① コロナ禍でリモートを活用し、6月に進路説明会を実施したことは評価できる。</p> <p>① 会社訪問が実施できなかったことは、仕方ない。職業体験は可能な範囲で実施してほしい。</p> <p>① 特別募集生徒の体験的進路活動も卒業後の社会接続に向けて、代替措置の工夫に期待する。</p>	<p>①テキスト「進路探究ワーク」を用いて活動し、最終的に自分の進路についてレポートとしてまとめた。また、社会的な課題について個人による探究活動を行った。</p> <p>全体を通して、個人ワーク中心の活動となり、グループワークなどの意見交換や学びあいの機会を設定できなかった。また、外部機関との連携が少なく、校内での活動に制限されてしまった。</p> <p>① 保護者に対しては5月と11月進路説明会を厚木市文化会館で実施し、進路業者や本校職員により進路に関する情報を伝えた。7月から三者面談を行い、進路相談、進路希望の最終確認を行った。9月から面接指導や志望理由書指導、小論文指導等の個別支援を実施した。</p>	<p>①グループワークや学びあいの機会の確保のために、ICT機器の活用を通して意見の交換やグループワークを実施できるよう工夫をしていく。</p> <p>また、外部との連携が実施できなかった点についてはリモート等による実施を視野に入れて検討していく。</p> <p>① 保護者が最も関心のある内容を中心に外部講師等招き講演をしていきたい。また、来られなかった保護者に対しても、リモート等を利用して一定期間内容を見られるようにしていきたい。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (11月26日実施)	総合評価(3月4日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
			<p>①特別募集生徒の卒業後の社会接続に向けて、有効的な体験的進路学習を実施する。</p> <p>①特別募集生徒の進路実現に向けて教育、福祉、労働各機関との連携に努める。</p>	<p>①特別募集生徒の職業体験学習のため、近隣の協力企業・事業所を開拓し、連携関係を築く。</p> <p>①生徒の実態に応じた業種や作業などの体験活動が展開できるように連携する。</p> <p>①外部資源を活用し、幅広い学習内容を提供すると同時に困難ケースについては関係機関と連携対応する。</p>	<p>①関係各所と連携関係構築が図れたか。</p> <p>①生徒の実態に応じた体験的学習活動が実施できたか。</p>	<p>ができなかった。</p> <p>①特別募集生徒の職業体験はコロナ禍のためできず、収束後に企画を練り直し、体験の機会を保障できるように努める。</p> <p>①就職者に対してはハローワークと障がい福祉に係る案件は相談機関に繋ぐなど、連携することができた。</p> <p>進学者の進路決定は、これまでどおり、該当の相手校と連携しながら進めている。</p>	<p>いる。</p> <p>①業種によって不可の事業所が出てくると思われるので、受け入れ先の確保に努めたいが、情報収集の方法を検討したい。</p> <p>①継続的な支援が必要なため、情報や支援が途切れぬように工夫が必要である。</p> <p>同時に進学希望者の進路決定に際しても個別性が高く、丁寧な連携関係が求められる。</p>	<p>①卒用後の進路は在校生保護者や各中学校現場からも関心が高い所だと思われる。現在の取組を継続し、着実に実績を積み重ねていただきたい。</p>	<p>①特別募集生徒の進路学習として位置付けている。この2年間、コロナ禍で職業と生き方選択者のうち、実施可能な場や進路選択と擦り合わせながら、可能な範囲で実施することができた。</p> <p>①特別募集生徒の進路決定のプロセスで次の支援者との情報共有はスムーズな移行に欠かせない。そのため、労働管轄部門、福祉管轄部門等と密に連携を図りながら、卒業学年の進路実現につなげることができた。</p> <p>①県域、地域内で卒業生を送り出した実績校として、他校や関係機関への情報発信を行うことができた。今後も実践報告や情報共有は必要な取組みと考えている。</p>	<p>①指定する会議以外に域内で関係機関の集まる会合などに参加し、進路の競合部や推進校の生徒の可能性を検討できるようにする。</p>
4	地域等との協働	<p>①学校の魅力を積極的に発信し、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②地域との協働を推進し、地域の企業研究所及び大学と連携した教育を実践する。</p>	<p>①教育活動の理解を得るための情報発信を積極的に行う。</p> <p>①保護者や地域の方々との情報交換を通して相互理解を深める。</p> <p>②地域の企業等と連携したキャリア教育を実践する。</p> <p>②地域貢献デー等の取り組みを通じ、地域の一員としての意識を向上させる。</p>	<p>①学校説明会等の機会を通じて本校の教育活動の理解を促進するとともに、中学生やその保護者の信頼を得る。</p> <p>①ホームページによる発信を正確かつ迅速に行う。</p> <p>①コミュニティースクール地域連携部会における意見交換を通して、保護者や地域の方との相互理解を図る。</p> <p>②近隣企業で働く方の講話を聞き、職業選択への興味関心を喚起する。</p> <p>②地域の一人として清掃や行事に参加する。</p>	<p>①中学生やその保護者の方に本校の教育活動を理解してもらえたか。</p> <p>①ホームページの発信、運営が適切に実施できたか。</p> <p>①保護者や地域の方との意見交換により相互の理解が図れたか。</p> <p>②上級学校進学後の職業選択に対する生徒の意識が向上したか。</p> <p>②地域との協同により清掃活動や行事に参加することができたか。</p>	<p>①8月に厚木市文化会館において、学校説明会を実施。二部制とし、合計300人の参加があった。感染防止に努め、指定席とした。新教育課程の説明や入学者選抜など丁寧に説明した。</p> <p>①学校説明会等の情報をHPで発信した。</p> <p>①コミュニティースクール地域連携部会は新型コロナ感染防止から中止となっている。</p> <p>②コロナ禍のため近隣企業の講話は実施できなかった。</p>	<p>①今後も新型コロナウイルス感染防止の観点から説明会を実施していくことになる。</p> <p>①在校生にはライデンメールと併用してHPを活用する。学校行事や部活動の試合が中止になるなど、教育活動の発信が例年より少ない。</p> <p>①地域連携部会の開催は未定。</p> <p>②地域貢献活動は今後、新型コロナ感染状況を鑑み、実施の判断をする。</p>	<p>①外部への発信に課題があるのは仕方ない。</p> <p>①ホームページについて、動画配信や地域貢献の記事もよく更新されていると思う。学校の教育実践を知る大事な機会なので、積極的な情報発信を期待する。</p> <p>①地域連携部会について感染防止に留意して、年度内に学校運営協議会と部会が直接対面して開催できるとよい。</p> <p>①コロナが落ちついたら小中高の連携も元の状況に協力していきたい。</p> <p>①これからも連携し、教育効果を高めたい。</p> <p>①この2年間の地域連携が実施できない状況は残念だが仕方ない。</p> <p>①貢献活動は是非継続してほしい。</p>	<p>①説明会についてのアンケート結果は概ね好評であった。特に「生徒による説明は良かった」との声が多かった。各回とも新型コロナウイルス感染防止対策をとったため、事前申し込みや座席指定など負担が重かった。</p> <p>①西翔祭「体育の部」と「文化の部」は個人情報との関係があり、Google classroomでの配信となった。その他、修学旅行などの学校行事は地域貢献活動以外、ほとんど実施されなかったため、HPでの配信内容がなかった。</p> <p>①地域連携部会は新型コロナウイルス感染防止のため、実施できなかった。</p>	<p>①新型コロナウイルス感染防止対策については今年度のノウハウを活かして効率よく行いたい。</p> <p>①今後もHPだけでなく、Google classroomも活用して情報発信を工夫していきたい。</p> <p>①地域連携部会はこれで2年間ブランクがあいてしまったが、対面での部会が再開できたら、また以前のような活発な意見交換を行いたい。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①安心安全な教育環境作り推進の一環として、施設設備の適切な維持管理を図る。</p>	<p>①安心安全な教育環境作り推進の一環として、施設設備の適切な維持管理を図る。</p> <p>①インクルーシブ教育実践推進校として、校内のユニバーサルデザイン化を継続的に実践し、誰にもわかりやすい教育環境を整える。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理のため必要な改善や工夫を行う。</p> <p>①3学年共通した学習の場としての教室空間をめざし、フロントゼロ活動等を継続的に取り組む。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理のため必要な改善や工夫を行ったか。</p> <p>①ユニバーサル視点で教室環境を整備できたか。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理の上で、適切に対応してきたため、特に大きな問題は発生していない。</p> <p>①年度初めに研修を行い、継続して教室の環境づくりに努めている。今後もフロントゼロなどの取組みを継続したい。</p>	<p>①必要な改善や工夫があれば、積極的かつ柔軟に対応していきたい。</p> <p>①あって当たり前、この姿がスタンダードになるように継続して呼びかけていく。</p>	<p>①ユニバーサルデザインによる教室環境整備を継続されることを願っている。生徒の学びを大切にされている「西高らしさ」がよく現れていると感じている。これからも継続してほしい。</p> <p>①ユニバーサルの視点は今後も継続することを期待する。教職員一人ひとりに、その視点が定着すればよいと思う。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理の上で、適切に対応してきたため、特に大きな問題は発生していない。</p> <p>①環境整備だけでなく授業のユニバーサルデザイン化、ICT機器を整備し、各ホームルームにプロジェクターが配置され、積極的な機器のか活用につながった。</p> <p>①フロントゼロなど継続して取り組むことができた。</p>	<p>①今年度のよかった点を来年度以降にも引き継ぎ、長期にわたる安定を目指したい。</p> <p>①この取り組みが本校の特色の1つとして、継続的に実施されるように研修等で周知していきたい。</p>